

<p style="text-align: center;">大規模システム開発論 Large Scale System Development</p>	<p>(教員名) <大澤 暁>、<寺口 正義></p>	
<p>情報システム創成研究分野 探究科目</p>	<p>講義科目</p>	<p>選択</p>
	<p>2 単位</p>	<p>2017 年度・前期集中</p>
<p>I 科目の主題 大規模なシステム（主にソフトウェア）を開発する上での様々な問題点、知っておくべき概念や方法論などについて講義する。</p>		
<p>II 授業の到達目標 ソフトウェア開発の現状、ソフトウェア開発プロセスのモデル化技術やプロセス評価・改善技術、ソフトウェア開発の見積もり技法、ソフトウェアシステムの分析・設計法、ソースコード構成管理、プログラム解析などの保守技術、テスト環境などについて、実践的な例題によってその概念と実践を学ぶ。 また大規模システム開発を効率的に行い、結果としてそのシステムを効果的に使用するための新しいアーキテクチャ概念についても学ぶ。 上記により、大規模なシステムを開発する上で必要な知識を習得することを目標とする。</p>		
<p>III 授業内容・授業計画 第1回 ソフトウェア開発とは 第2回 プロセス・モデル 第3回 プロジェクト・マネジメント 第4回 ワークショップ 1 第5回 要求管理 1 第6回 要求管理 2 第7回 要求管理ツール 第8回 ワークショップ 2 第9回 構成管理、ソースコード管理 第10回 プログラムの方式設計 第11回 過去の失敗に学ぶ 第12回 ワークショップ 3 第13回 アーキテクチャ・デザインと非機能要件 第14回 パフォーマンス 第15回 ワークショップ 4</p>		
<p>IV 事前・事後の学習内容 事前の学習は、特に必要としない。 事後に必要なに応じて復習できるように、教材を pdf ファイルで配布する。</p>		
<p>V 評価方法 平常点と期末レポートによる。平常点は出席により 60 点満点、期末レポートは 40 点満点で評価し、その総計により評価する。</p>		
<p>VI 受講生へのコメント 出席が 5 割に満たない場合は、原則として期末レポートの提出を認めない。</p>		
<p>VII 教材 教科書は指定しない。講師の用意した PowerPoint 資料をプロジェクタで提示する方式で行う。</p>		